

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Application of:

Nobuhiro AZUMA

Serial No.:

Filed: March 27, 2001

For: BUSINESS DEAL INFORMATION SYSTEM

Group Art Unit:

Examiner:



**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR
FOREIGN APPLICATION IN ACCORDANCE WITH
THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. § 1.55**

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. § 1.55, the applicant(s) submit(s)
herewith a certified copy of the following foreign application(s):

Japanese Patent Application No. 2000-221175
Filed: July 21, 2000

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing
date, as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements
of 35 U.S.C. § 119.

Respectfully submitted,
STAAS & HALSEY LLP

Date: March 27, 2001

By: _____


H. J. Staas
Registration No. 22,010

700 Eleventh Street, N.W.
Suite 500
Washington, D.C. 20001
Telephone: (202) 434-1500
Facsimile: (202) 434-1501

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

J11046 U.S. PTO
09/817225
03/27/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 7月21日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-221175

出 願 人

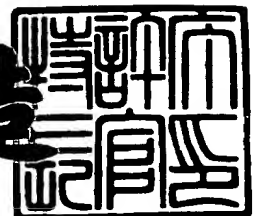
Applicant (s):

富士通株式会社

2001年 3月 2日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3013425

【書類名】 特許願

【整理番号】 0050545

【提出日】 平成12年 7月21日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明の名称】 商談紹介システム

【請求項の数】 2

【発明者】

【住所又は居所】 東京都文京区後楽1丁目7番27号 株式会社富士通ビ
ジネスシステム内

【氏名】 東 伸浩

【特許出願人】

【識別番号】 000005223

【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

【識別番号】 100108202

【弁理士】

【氏名又は名称】 野澤 裕

【電話番号】 044-754-3035

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011280

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9913421

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 商談紹介システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の項目からなる商談情報を受け付ける商談情報受付手段と、

商談情報の提供者毎に保有ポイントを管理する登録者ポイントファイルと、
前記商談情報受付手段の受け付けた複数の項目について、内容が正確であるかどうかの情報を受け付ける確認情報受付手段と、

確認情報受付手段によって正確な情報であるとされた項目について、予め定められたポイントを前記登録者ポイントファイルの該当する登録者のポイント数に加算するポイント加算手段と

を有する商談紹介システム。

【請求項 2】 登録者ポイントファイルにより登録者毎にポイントを管理する商談紹介管理方法であって、

登録者から通知される複数の項目から構成される商談情報の各々の項目について内容が正確であるかどうかの情報を受け付けるステップと、

正確な情報であるとされた項目について、予め定められたポイント数をポイントファイルの該当する登録者のポイント数に加算するステップと

を有する商談紹介管理方法。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明はインターネットを用いて住宅の取引などの商談の紹介を行う商談紹介システムに関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

住宅業界における営業活動では様々なルートからもたらされる「商談紹介情報」は大変重要で、かつ受注獲得の上で非常に効果的である。住宅業者は、成約時には情報提供者へ謝礼金の贈呈や、成立しなかった場合であっても記念品の進呈

などを行い、積極的な情報獲得を図っている。

【 0 0 0 3 】

しかし、この商談紹介情報の収集はシステム化されておらず、もっぱら手作業にて行われている。

【 0 0 0 4 】

さらに、情報提供を依頼する範囲が営業員の個人的な人脈に限定されているため、情報の量や収拾の迅速さも欠けることが多い。

【 0 0 0 5 】

【発明が解決しようとする課題】

本発明では、営業員の人脈に限定されない不特定多数の人が商談情報を提供でき、しかも、成約に結びつくような質の高い情報が提供されるような商談情報提供システムを提供することを目的としている。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を解決するために、本発明においては、提供される複数の項目からなる商談情報に対し、項目別に異なるポイント数を定めておき、提供された商談情報が正しかった場合にのみ項目に対応するポイントを加算するとともに、商談が成立した場合にもポイントを加算するように情報提供者に対してインセンティブを与える。ここで、ポイントはその値に応じて定められた商品に交換可能なものである。

【 0 0 0 7 】

【発明の実施の形態】

図 1 は本発明の一実施形態のシステム構成を示す図である。図中 1 0 1 はインターネットであり、全世界的規模で接続されているネットワークである。1 0 2 は業者システムであって、業者サーバ 1 0 3 と営業員端末 1 0 4 で構成されている。なお、業者サーバ 1 0 3 の詳細については後述する。1 0 5 は利用者端末であり、インターネット 1 0 1 に接続され、Web ブラウザを利用して業者サーバ 1 0 3 にアクセスできる。

【 0 0 0 8 】

図 2 は業者サーバ 1 0 3 の構成を示す図である。業者サーバ 1 0 3 は一般的なコンピュータであり、CPU 2 0 1、メモリ（主記憶）2 0 2、外部記憶装置 2 0 3 を備えている。

【 0 0 0 9 】

メモリ 2 0 2 には Web サーバプログラム 2 0 4、提供情報登録 CGI プログラム 2 0 5、確認情報登録 CGI プログラム 2 0 6、ポイント確認 CGI プログラム 2 0 7、成約登録 CGI プログラム 2 0 8 が外部記憶装置 2 0 3 からロードされ CPU 2 0 1 によって実行される。

【 0 0 1 0 】

外部記憶装置 2 0 3 には上述のプログラムのほかに、商談情報データベース 2 0 9、紹介者ポイントファイル 2 1 0、ポイント定義テーブル 2 1 1 が格納される。

【 0 0 1 1 】

ポイント定義テーブル 2 1 1 の一例を図 5 に示す。ポイント定義テーブル 2 1 1 は各々が項目とそれに対応するポイント数の 2 つの項目で構成される複数のレコードにより構成されている。

【 0 0 1 2 】

ポイント数は、対応する項目について正確な情報が登録された場合に加算されるポイント数を示している。

【 0 0 1 3 】

紹介者ポイントファイル 2 1 0 の一例を図 6 に示す。紹介者ポイントファイル 2 1 0 は、各々が登録者 ID とそれに対応するポイント数の 2 つの項目で構成される複数のレコードにより構成されている。

【 0 0 1 4 】

ポイント数は、登録者 ID で識別される人が、本商談紹介システムを利用して獲得した現時点でのポイント数を表している。

【 0 0 1 5 】

商談情報データベース 2 0 9 の構成を図 7 に示す。商談情報データベース 2 0 9 は各々が商談番号、登録者 ID、購入希望者氏名、住所、連絡先、購入検討、

購入予定時期、購入予算、資金計画、欲しい間取り、家族構成、競合状況、購入決定者、情報提供者公開可否の 1 4 の項目で構成される複数のレコードによって構成されている。

【 0 0 1 6 】

Webサーバプログラム 2 0 4 は公知の HTTP プロトコルに従って、端末装置から URL を用いた要求によって要求されたデータを要求元の端末装置に転送する公知のプログラムである。URL はサーバを識別する情報と、サーバ内のデータを識別する情報とで構成される。

【 0 0 1 7 】

また、URL はサーバを識別する情報とサーバ内のプログラムを識別する情報と、このプログラムに対して渡されるパラメタとで構成される場合もある。このように URL 内で指定されるプログラムを一般に CGI プログラムと呼ぶ。

【 0 0 1 8 】

紹介情報を登録しようとする登録者は、利用者端末 1 0 5 で実行されている Web ブラウザプログラムを用いて業者サーバ 1 0 3 にアクセスする。より具体的には、紹介情報を登録するための「提供情報入力画面」の URL を Web ブラウザで指定することで、業者サーバ 1 0 3 から利用者端末に提供情報入力画面が表示される。

【 0 0 1 9 】

図 3 は利用者端末 1 0 5 に表示される提供情報入力画面の一例を示す図である。提供情報入力画面 3 0 1 は、登録者 ID 入力フィールド 3 0 2、購入希望者氏名入力フィールド 3 0 3、住所入力フィールド 3 0 4、連絡先入力フィールド 3 0 5、購入検討入力フィールド 3 0 6、購入予定時期入力フィールド 3 0 7、購入予算入力フィールド 3 0 8、資金計画入力フィールド 3 0 9、欲しい間取り入力フィールド 3 1 0、家族構成入力フィールド 3 1 1、競合状況入力フィールド 3 1 2、購入決定者入力フィールド 3 1 3、情報提供者公開可否入力フィールド 3 1 4、登録ボタン 3 1 5、キャンセルボタン 3 1 6 により構成されている。

【 0 0 2 0 】

登録者 ID 入力フィールド 3 0 2 は情報提供者を識別するための ID である登

録者IDを入力するフィールドである。

【0021】

購入希望者氏名入力フィールド303は購入希望者（住宅を購入しようとしている人）の氏名を入力するためのフィールドである。

【0022】

住所入力フィールド304は購入希望者の住所を入力するためのフィールドである。

【0023】

連絡先入力フィールド305は購入希望者の電話番号などの連絡先情報を入力するためのフィールドである。

【0024】

購入検討入力フィールド306は購入希望者がどのような住宅の購入を検討しているかを入力するためのフィールドである。

【0025】

購入予定時期入力フィールド307は購入希望者がどのような時期に住宅を購入しようとしているかを入力するためのフィールドである。

【0026】

購入予算入力フィールド308は購入希望者の予算を入力するためのフィールドである。

【0027】

資金計画入力フィールド309は購入希望者の資金計画を入力するためのフィールドである。

【0028】

欲しい間取り入力フィールド310は購入希望者が希望している間取りを入力するためのフィールドである。

【0029】

家族構成入力フィールドは購入した住宅に入居予定の家族の家族構成を入力するためのフィールドである。

【0030】

競合状況入力フィールド312は購入希望者に係る商談が何件の業者によって競合しているか、即ち、購入希望者が何件の業者に購入希望の話を持ちかけているかを入力するフィールドである。

【0031】

購入決定者入力フィールド313は最終的に購入するかどうかの意思決定を行うのは誰であるのかを入力するフィールドである。

【0032】

情報提供者公開可否入力フィールド314は、営業員が提供された情報に基づいて購入希望者に連絡を取った際に、連絡を取るきっかけとなったのが、情報登録者による情報の登録であることを購入希望者に知らせてもよいかどうかを入力するためのフィールドである。紹介元を購入希望者に通知することは、購入希望者の心を解きほぐし、営業員と購入希望者との間のスムーズなコミュニケーションにつながる。

【0033】

登録ボタン315は上述のフィールドに入力したデータを業者サーバ103の商談情報データベース209に登録することを指示するためのボタンである。このボタンをマウスでクリックすることで、商談情報データベース209にデータが登録される。

【0034】

キャンセルボタン316は上述のフィールドにデータを入力したが、実際に商談情報データベース209にはデータを格納しない場合にマウスでクリックするためのボタンである。

【0035】

情報登録者が上述のフィールドにデータを入力して登録ボタン315をクリックすると、利用者端末105上で実行されているWebブラウザは予め登録ボタン316に対応付けられて定義されている業者サーバ103を識別する情報と提供情報登録CGIプログラム205を識別する情報と、さらに、フィールドに入力されたデータを提供情報登録CGIプログラム205に対するパラメタとしてURLを組み立て、組み立てたURLをHTTPプロトコルに従って業者サーバ

1 0 3 に送信する。

【 0 0 3 6 】

利用者端末 1 0 5 から通知された URL に、提供情報登録 CGI プログラム 2 0 5 を識別する情報とそれに対するパラメタが URL に含まれている場合、業者サーバ 1 0 3 の Web サーバプログラム 2 0 4 は提供情報登録 CGI プログラム 2 0 5 を起動しパラメタを渡す。

【 0 0 3 7 】

起動された提供情報登録 CGI プログラムは図 8 に示すフローに従って動作する。まず、ステップ S 5 0 1 において商談番号を生成し、次にステップ S 5 0 2 において、ステップ S 5 0 1 で生成した商談番号と Web サーバプログラム 2 0 4 から渡されたパラメタとからレコードを生成して、商談情報データベース 2 0 9 に格納する。

【 0 0 3 8 】

続いて、ステップ 5 0 3 において購入希望氏名、住所、連絡先、購入検討といった必須情報があるかどうかを判定し、あれば、基本ポイントとして 5 0 0 ポイントを紹介者ポイントファイルの登録者 ID に該当するレコードのポイント数に加算する。

【 0 0 3 9 】

商談情報が登録されると、営業員は登録された情報をもとに購入希望者と連絡をとる。登録されている情報が多数ある場合には商談情報の内容に応じて優先順位をつけ（例えば購入予算の大きい順など）、優先順位の高いものから購入希望者に連絡をとるように運用することができる。

【 0 0 4 0 】

営業員は購入希望者と連絡をとり、登録者によって登録された商談情報が正確であるか否かを確認し、その結果を業者サーバ 1 0 3 に登録する。登録は、以下の手順で行う。

【 0 0 4 1 】

営業員は営業員端末 1 0 4 上で実行されている Web ブラウザを用いてサーバ 1 3 にアクセスする。具体的には商談情報が正確であるか否かを確認した確認情

報を登録するために、「確認情報登録画面」のURLをWebブラウザで指定することで、業者サーバ103から利用者端末に提供情報入力画面が表示される。

【0042】

図4は営業員端末104表示される確認情報入力画面の一例を示す図である。確認情報入力画面401は、商談番号入出力フィールド402、購入希望者氏名表示フィールド403、住所表示フィールド404、連絡先表示フィールド405、購入検討表示フィールド406、購入予定時期表示フィールド407、購入予算表示フィールド408、資金計画表示フィールド409、欲しい間取り表示フィールド410、家族構成表示フィールド411、競合状況表示フィールド412、購入決定者表示フィールド413、情報提供者公開可否表示フィールド414、購入予定時期確認チェックボックス415、購入予算確認チェックボックス416、資金計画確認チェックボックス417、欲しい間取り確認チェックボックス418、家族構成確認チェックボックス419、競合状況確認チェックボックス420、購入決定者確認チェックボックス421、登録ボタン423、キャンセルボタン424により構成されている。

【0043】

商談番号入出力フィールド402は商談番号を入力するためのフィールドである。

【0044】

購入希望者氏名表示フィールド403は登録者が登録した購入希望者氏名を表示するためのフィールドである。

【0045】

住所表示フィールド404は登録者が登録した購入希望者の住所を表示するためのフィールドである。

【0046】

連絡先表示フィールドは405登録者が登録した購入希望者の連絡先を表示するためのフィールドである。

【0047】

購入検討表示フィールド406は登録者が登録した購入希望者が希望している

物件を表示するためのフィールドである。

【0048】

購入予定時期表示フィールド407は登録者が登録した購入希望者が物件の購入を予定している時期を表示するためのフィールドである。

【0049】

購入予算表示フィールド408は登録者が登録した購入予定者の購入予算を表示するためのフィールドである。

【0050】

資金計画表示フィールド409は登録者が登録した購入予定者の資金計画を表示するためのフィールドである。

【0051】

欲しい間取り表示フィールド410は登録者が登録した購入予定者が希望している間取りを表示するためのフィールドである。

【0052】

家族構成表示フィールド411は登録者が登録した購入した住宅に入居予定の家族の家族構成を表示するためのフィールドである。

【0053】

競合状況表示フィールド412は登録者が登録した競合情報を表示するためのフィールドである。

【0054】

購入決定者表示フィールド413は登録者が登録した最終的に購入するかどうかの意思決定をおこなうのは誰であるかを表示するためのフィールドである。

【0055】

購入予定時期確認チェックボックス415は登録者が登録した購入予定時期と営業員が確認した購入予定時期が一致したかどうかを営業員が判定しその結果を入力するためのチェックボックスである。

【0056】

購入予算確認チェックボックス416は登録者が登録した購入予算と営業員が確認した購入予算とが一致したかどうかを営業員が判定しその結果を入力するた

めのチェックボックスである。

【0057】

資金計画確認チェックボックス417は登録者が登録した資金計画と営業員が確認した資金計画とが一致したかどうかを営業員が判定しその結果を入力するためのチェックボックスである。

【0058】

欲しい間取り確認チェックボックス418は登録者が登録した購入希望者が希望している間取りと営業員が確認した購入希望者が希望している間取りとが一致したかどうかを営業員が判定しその結果を入力するためのチェックボックスである。

【0059】

家族構成確認チェックボックス419は登録者が登録した購入した住宅に入居予定の家族の家族構成と、営業員が確認した入居予定の家族の家族構成とが一致したかどうかを営業員が判定しその結果を入力するためのチェックボックスである。

【0060】

競合状況確認チェックボックス420は購入希望者に関して登録者が登録した情報と営業員が確認した情報が一致するかどうかを営業員が判定しその結果を入力するためのチェックボックスである。

【0061】

購入決定者確認チェックボックス421は購入決定者に関して登録者が登録した情報と営業員が登録した情報が一致するかどうかを営業員が判定しその結果を入力するためのチェックボックスである。

【0062】

ここでチェックボックスとはオン又はオフの情報を入力するためのGUI部品であり、ここでは、オン（チェックされている）であれば一致していることを、オフ（チェックされていない）であれば不一致であることを示すものとする。

【0063】

登録ボタン423は上述のチェックボックスのチェック結果に基づいて業者サ

サーバ103の紹介者ポイントファイル210を更新することを指示するためのボタンである。このボタンをマウスでクリックすることで、紹介者ポイントファイルが更新される。

【0064】

キャンセルボタン424は上述のチェックボックスのチェック結果を業者サーバ103の紹介者ポイントファイル210には反映しない場合にマウスでクリックするためのボタンである。

【0065】

営業員が上述のチェックボックスをチェックして登録ボタン423をマウスでクリックすると、営業員端末104上で実行されているWebブラウザは予め登録ボタン423に対応付けられて定義されている業者サーバ103を識別する情報と確認情報登録CGIプログラム206を識別する情報と、さらに、商談番号とチェックボックスのチェック結果（オン・オフの情報）をパラメタとしてURLを組み立て、組み立てたURLをHTTPプロトコルに従って業者サーバ103に送信する。

【0066】

通知されたURLに確認情報登録CGIプログラム206を識別する情報とそれに対するパラメタが含まれている場合、業者サーバ103のWebサーバプログラム204は確認情報登録CGIプログラム206を起動し、パラメタを渡す。

【0067】

起動された確認情報登録CGIプログラム206は図9に示すフローに従って処理を行う。即ち全てのチェックボックスについてステップS512からステップS515を繰り返す。ステップS511は全てのチェックボックスについて繰り返し処理が完了したかどうかを判定するステップである。

【0068】

ステップS512において処理対象のチェックボックスがチェックされている（オンになっている）かどうかを判定する。ここでチェックされていない（オフになっている）場合には何もせず次のチェックボックスの処理を行う。

【 0 0 6 9 】

チェックボックスがチェックされている（オンになっている）場合は、ステップ S 5 1 3 からステップ S 5 1 5 を実行する。

【 0 0 7 0 】

ステップ S 5 1 3 において、ポイント定義テーブル 2 1 1 を検索して、加算するポイント数を決定する。続いて、ステップ S 5 1 4 において、Webサーバからパラメタとして渡された商談番号をキーに商談情報データベースを検索して特定されたレコードの登録者 ID を決定する。最後に、紹介者ポイントファイル 2 1 0 の登録者 ID に該当するレコードにステップ S 5 1 3 で決定したポイント数を加算する。

【 0 0 7 1 】

図 1 0 はポイント確認 CGI プログラムの処理を示すフローである。利用者端末 1 0 5 で実行されている Web ブラウザより登録者 ID がパラメタとして渡されると、登録者 ID をキーに登録者ポイントファイルを検索し（ステップ S 5 2 1）、検索して特定されたレコードからポイント数を抽出し（ステップ S 5 2 2）、抽出したポイント数を画面に表示し（ステップ S 5 2 3）、処理を終了する。

【 0 0 7 2 】

図 1 1 は成約登録 CGI プログラムの処理を示すフローである。営業者端末 1 0 4 で実行されている Web ブラウザから商談 ID がパラメタとして渡されると、商談番号をキーに商談情報データベースを検索し（ステップ S 5 3 1）、検索したレコードから登録者 ID を抽出し（ステップ S 5 3 2）、紹介者ポイントファイルの該当する登録者 ID のポイント数に成約ポイントとして 2 0 0 0 ポイントを加算し（ステップ S 5 3 3）、処理を終了する。

【 0 0 7 3 】

以上のように商談情報の登録および確認情報の登録を繰り返すことで登録者のポイントが加算されていく。

【 0 0 7 4 】

【発明の効果】

本発明により、営業員の人脈に限定されない不特定多数の人が商談情報を提供でき、しかも、正確な情報を提供することで、より高いポイントが得られるので、成約に結びつくような質の高い情報が提供されやすくなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明およびその一実施形態のシステム構成を示す図である。

【図2】

サーバの構成を示す図である。

【図3】

提供情報登録画面の一例を示す図である。

【図4】

確認情報登録画面の一例を示す図である。

【図5】

ポイント定義テーブルの一例を示す図である。

【図6】

登録者ポイントファイルの一例を示す図である。

【図7】

商談情報データベースの構成を示す図である。

【図8】

提供情報登録CGIプログラムの処理フローを示す図である。

【図9】

確認情報登録CGIプログラムの処理フローを示す図である。

【図10】

ポイント確認CGIプログラムの処理フローを示す図である。

【図11】

成約登録CGIプログラムの処理フローを示す図である。

【符号の説明】

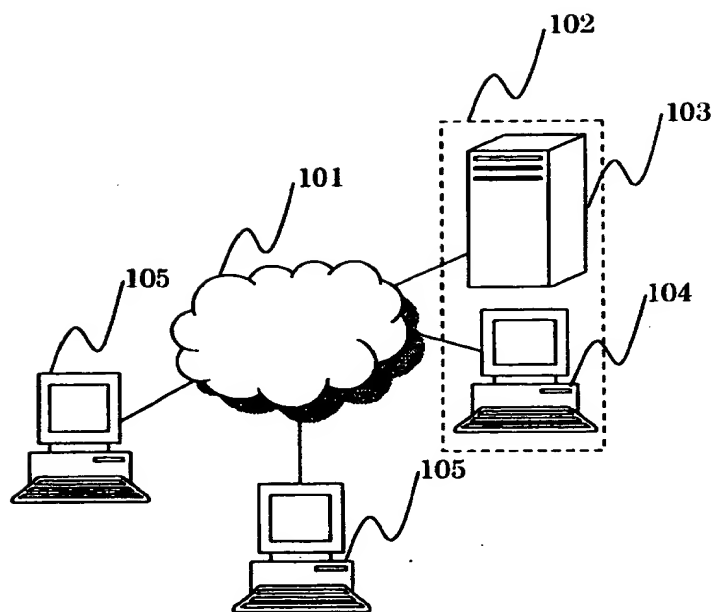
101 インターネット

102 業者システム

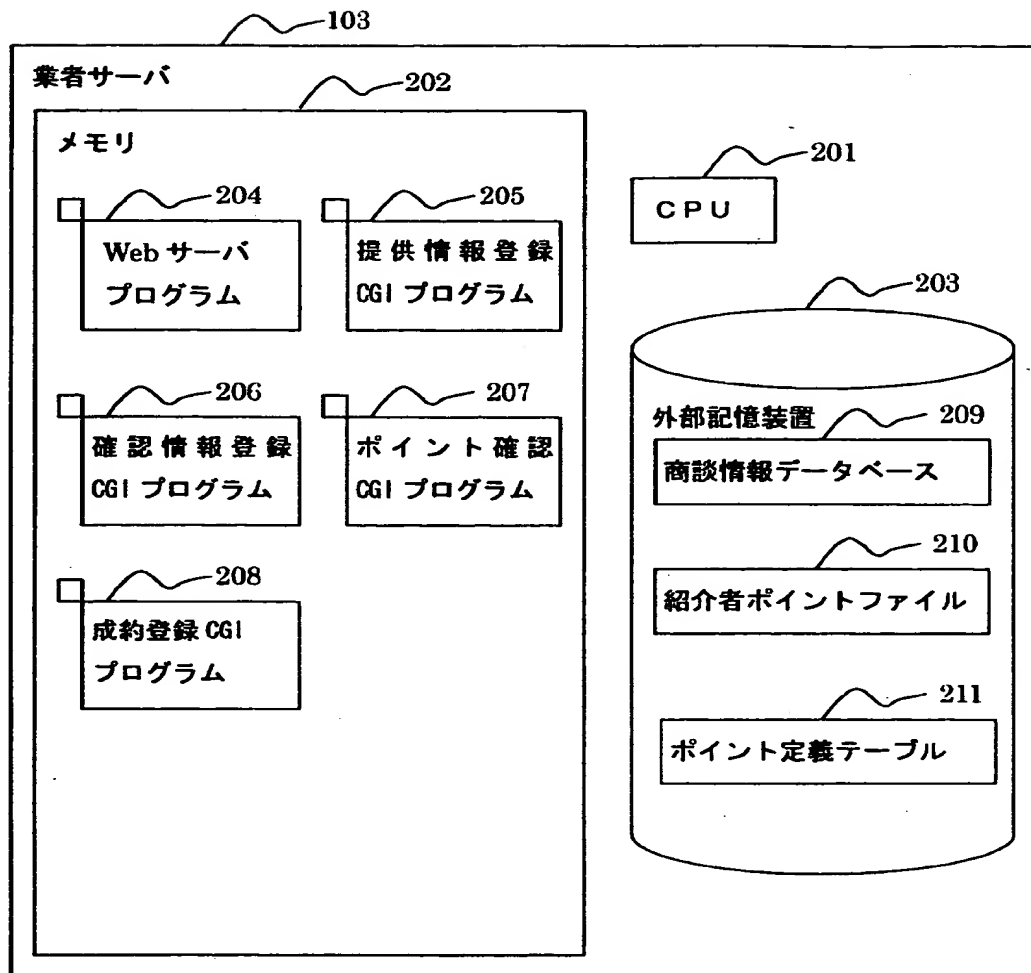
- 1 0 3 業者サーバ
- 1 0 4 営業員端末
- 1 0 5 利用者端末

【書類名】 図面

【図 1】



【図2】



【図 3】

Figure 3 is a registration form for a housing purchase. The form is divided into two main sections: a registration section and a confirmation section. The registration section contains the following fields:

- 登録者 ID (Registration ID): XYZ01234
- 購入希望者氏名 (Purchaser Name): 山田太郎 (Yamada Taro)
- 住所 (Address): 東京都千代田区一丁目 (Chiyoda-ku, Chiyoda 1-chome)
- 連絡先 (Contact): 03-9999-9999
- 購入検討 (Purchase Consideration): 戸建住宅 (Detached House)
- 購入予定時期 (Purchase Period): 1 年以内 (Within 1 year)
- 購入予算 (Purchase Budget): 40,000 千円 (40,000,000 Yen)
- 資金計画 (Funding Plan): 銀行 + 自己資金 (Bank + Self-funding)
- 欲しい間取り (Desired Unit Type): 5LDK
- 家族構成 (Family Composition): 5 人 夫婦 + 子供 3 人 (5 people, couple + 3 children)
- 競合状況 (Competition Status): 3 社競合 (3 companies competing)
- 購入決定者 (Purchase Decision Maker): 奥さん (Mrs.)
- 情報提供者公開可否 (Information Provider Public Release): 可能 (Possible)

At the bottom of the form, there are two buttons:

- 登録 (Register) - 315
- キャンセル (Cancel) - 316

The form is labeled with reference numerals 301 through 316.

【図 4】

商談番号	ABC09876	401
購入希望者氏名	山田太郎	402
住所	東京都千代田区一丁目	403
連絡先	03-9999-9999	404
購入検討	戸建住宅	405
購入予定時期	1年以内	406
購入予算	40,000千円	407
資金計画	銀行+自己資金	415
欲しい間取り	5LDK	408
家族構成	5人 夫婦+子供3人	409
競合状況	3社競合	410
購入決定者	奥さん	411
情報提供者公開可否	可能	412
	登録	413
	キャンセル	414
		421
		422
		423
		424

【図 5】

項目	ポイント数
購入予定時期	10ポイント
購入予算	10ポイント
資金計画	10ポイント
欲しい間取り	5ポイント
家族構成	5ポイント
競合状況	5ポイント
購入決定者	10ポイント
情報提供者公開可否	10ポイント

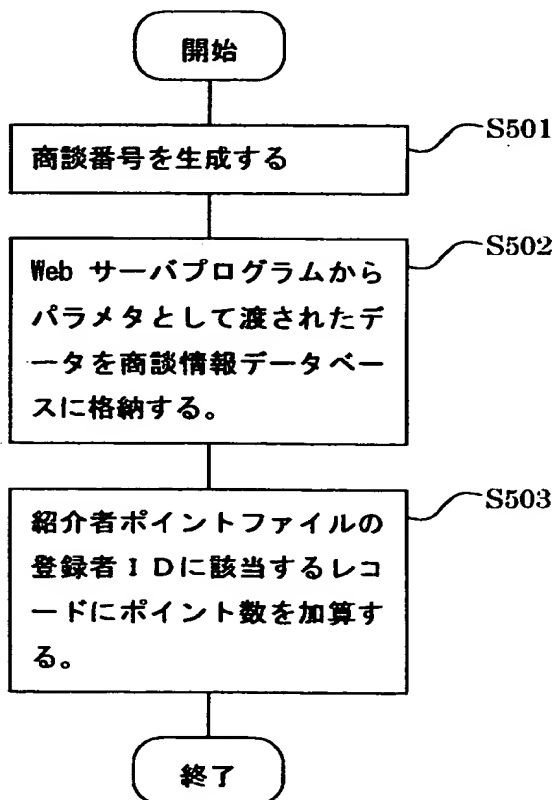
【図 6】

登録者 I D	ポイント数
XYZ01234	100
XYZ01235	200
XYZ01236	5000
XYZ01237	100

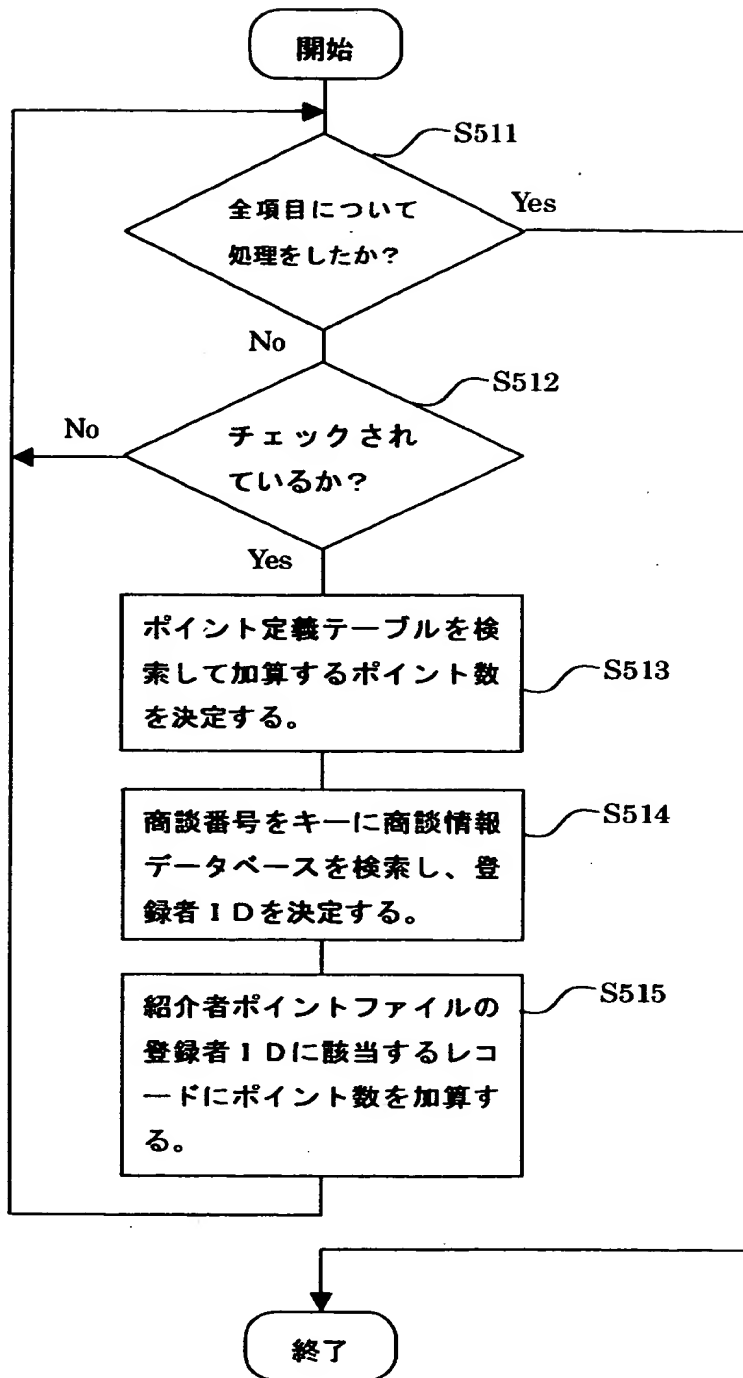
【図 7】

商談 番号	登録 者 ID	購入 希望 者 氏名	住 所	連絡 先	購入 検討	購入 予定 時期	購入 予算	資金 計画	欲し い 間取 り	家族 構成	競合 状況	購入 決定 者	情報 提供 者 公開 可否

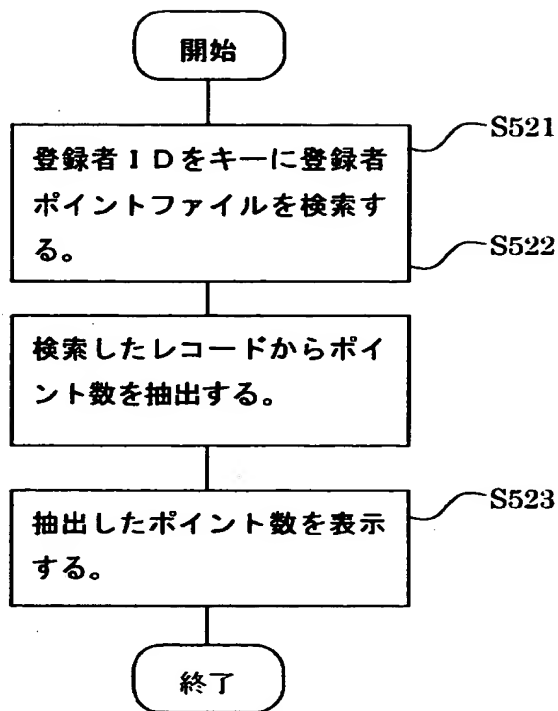
【図 8】



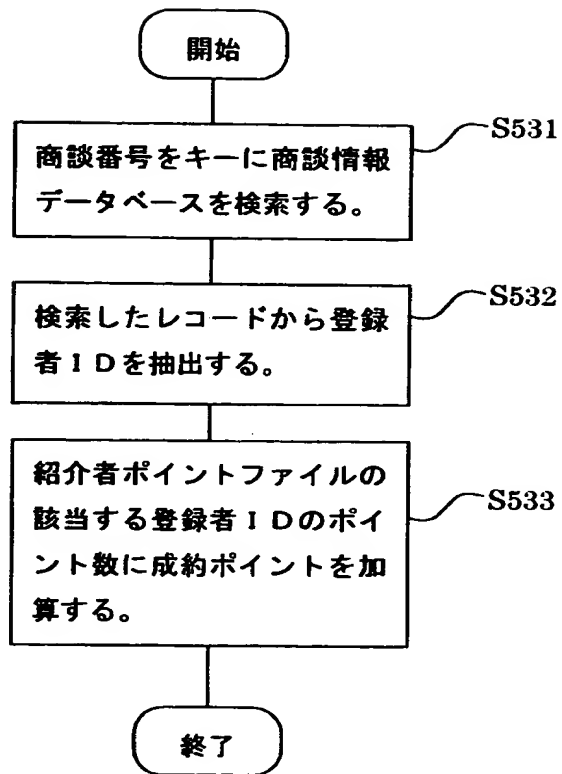
【図 9】



【図 1 0】



【図 11】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 成約に結びつく確立の高い商談情報を提供してもらえる商談情報システムを提供すること。

【解決手段】 複数の項目からなる商談情報を受け付ける商談情報受付手段と、商談情報の提供者毎に保有ポイントを管理する登録者ポイントファイルと、前記商談情報受付手段の受け付けた複数の項目について、内容が正確であるかどうかの情報を受け付ける確認情報受付手段と、確認情報受付手段によって正確な情報であるとされた項目について、予め定められたポイントを前記登録者ポイントファイルの該当する登録者のポイント数に加算するポイント加算手段とを有する商談紹介システムにより上記課題を解決する。

【選択図】 図 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日	1996年 3月26日
[変更理由]	住所変更
住 所	神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
氏 名	富士通株式会社